

練馬区における外環の地上部街路に関する 広く意見を聴く会の記録

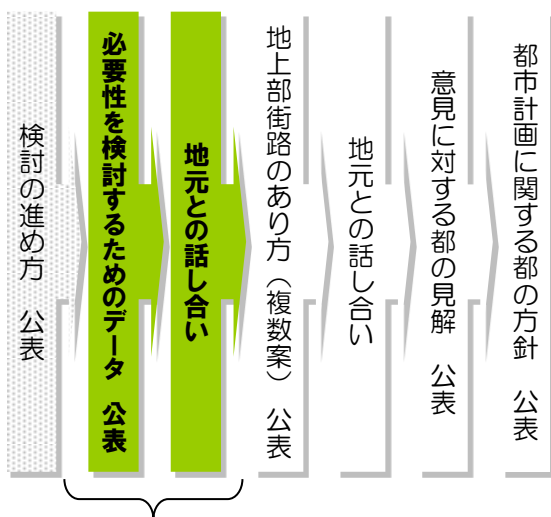
東京都は、練馬区における外環の地上部街路の必要性やあり方などについて広く意見を聴くため、平成22年6月から平成23年8月まで、練馬区における外環の地上部街路に関する話し合いの会（以下「話し合いの会」）を6回開催しました。

「話し合いの会」では、地域の方々に構成員として参加していただき、環境、防災、交通、暮らしの4つの項目について、広域及び地域の視点で検討を進めました。また、「話し合いの会」で提示したデータや、構成員から頂いたご意見などを広く周知するとともに、構成員以外の地域の皆さんからご意見を聴くため、平成23年11月に「広く意見を聴く会」を3回開催しました。

このリーフレットは、「広く意見を聴く会」でいただいたご意見の概要です。

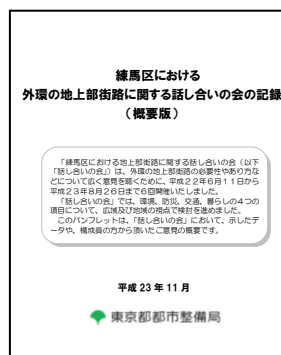
検討のプロセス

広く意見を聴く会の概要



開催日	場所	来場者
平成23年11月26日	上石神井小学校	104名
平成23年11月27日	泉新小学校	32名
平成23年11月28日	勤労福祉会館	95名

- 話し合いの会（平成22年6月～平成23年8月）
- 広く意見を聴く会（平成23年11月）



■ 配布したパンフレット ■ 広く意見を聴く会の様子

お問い合わせ先

東京都都市整備局 都市基盤部 街路計画課 外かく環状道路係

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 第二本庁舎22階南側 電話：03-5388-3279

ホームページ：http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kiban/gaikaku/（関連資料の公表先）

広く意見を聴く会でいただいたご意見の概要

地上部街路の必要性についてのご意見

地域の現状

- 生活道路の狭さ、渋滞はひどい。
- 上石神井駅周辺は、渋滞によって歩行者が危険にさらされている。
- 生活道路に通過交通が大量に入り込んでいるため、交通事故の危険性が高い。
- 練馬区においては、自動車交通に適した道路が不足している。近隣生活用の路地まで自動車が侵入し、生活環境を破壊している。
- 地上部街路がなくても困らずにやってこられた。

地上部街路は必要、不要

- 次世代のため、安全・安心のための道路が必要。
- 経済成長を支え、交通利便性を保つため、新しい道路が必要。
- 火災の延焼防止、救援物資輸送、人命救助のため、地上部街路が必要。
- 防災等の課題のための必要性は理解したが、住み慣れた環境を離れるのは辛い。
- 少子高齢化が進み、交通車両数の減少が予測できるため、新しい道路は不要。
- 大規模な道路にしては整備効果が低く感じられる。
- 住宅の立ち退き等で多大な犠牲、費用を費やしてまでつくる必要はない。
- 交通や環境など予測が難しいために、道路をつくるべきか否か判断が難しい。

地上部街路の都市計画

- 住宅の立ち退きを減らすために外環本線は地下化されたのだから、地上部街路は廃止すべき。
- 現在の都市計画を前提とせず、ゼロから考え直すべき。
- 住民や住宅、社会が様変わりしている現状で、半世紀近く前の都市計画を基に話し合いを進めること自体が無駄。

他の施策を優先すべき

- 次世代に借金を残すべきではない。
- 税金を使うことの最優先事項は道路の新設ではない。
- 財源を被災地の復興に回すべき。
- 少子化対策を第一優先にすべき。
- 環境・防災・交通・暮らしの課題を地上部街路で改善するのではなく、それぞれ別の方法で解消したほうが大きな効果が得られるはず。
- 防災には耐震補強を優先させるべき。

地上部街路の整備による影響が心配

- 交通量の多い道路ができれば健康面に関して危険ではないか。
- 環境基準を満足しているだけでは大気汚染や騒音の被害が出ることを認識すべき。
- 幹線道路の整備により交通量が増加し、生活道路の交通量は減らないのではないか。
- 地上部街路ができて大型店ができて渋滞が発生したら困る。
- 地区割りが変わることによって生活が激変し、地域社会が破壊されないか。

地上部街路のあり方についてのご意見

地上部街路に求める機能

- 地上部街路の建設については賛成だが、道路の幅員等は検討の余地がある。
- 都市計画に必要な道路面積には一定の目安があるはず。
- 本当に危険と思われる地点のみの最低限の整備なら賛成。
- 幅員は20m程度でよいのではないか。
- 交通量1万～1.8万台/日であるならば幅員は16mで十分。
- 幅40mの道路よりも幅10mの歩行者道路をつくるべき。
- バス路線の整備を重点に実施すべき。
- 自転車専用道を独立して設置し、歩道と分けてほしい。
- 地上部は道路または緑のたくさんある公園にしてほしい。
- 緑は必要などところに増やせばよく、道路に関して緑化するという事にはならない。
- 街路樹による緑化の効果は薄いのではないか。

地上部街路の代替機能

- 地上部街路は不要。代替ルートはもっと不要。
- 地上部街路の機能を100%代替ルートに持たせなくても、80%でも70%でも、他の考え方があるのではないか。
- 地域の環境・防災・交通・暮らしを考えるのであれば、違うルートもあるのではないか。
- 幅員50mあっても自動車が道路に存在すれば延焼遮断帯の意味を成さない。
- 防災のために必要ならば、既存道路を拡幅すべき。
- 交通円滑化は既存道路の拡幅で補うことができる。
- 車の交通量を減らすため、路面電車など他の機能を拡充する方法を検討してほしい。
- 事業中の都市計画道路や局所改良で代替機能の早期発現を目指すべき。

検討の進め方についてのご意見

広く意見を聴く会の運営方法

- 会の周知を徹底すべき。
- 会を今後行ってほしい。
- 都の説明時間が長く、意見を聴いたとはいえない。
- 会の時間ぎりぎりまで意見を聴く時間を設けてほしい。
- 質問に対する回答が明確でない。

検討の進め方

- メリット・デメリットの説明資料が不足している。
- 立ち退き戸数や概算コストを示すべき。
- 計画線に掛かっているか否か確認できる図面等を用意すべき。
- 検討のスケジュールを立ててほしい。
- 意見が今後の方針に反映されるとは思えない。
- 賛成の意見を捨てる仕組みを考えるべき。